

以心伝心

令和6年度 朝礼(9/30) 校長の話

おはようございます。久しぶりの全校朝礼です。四字熟語の紹介も久しぶりになります。今日の四字熟語は「以心伝心」です。心をもって心へ伝える、つまり言葉がなくても心と心で通じ合うという意味です。そんな瞬間を、皆さんは経験したことがあるでしょうか。黙っていても、相手が考えていることがなんとなく分かるという、そんな瞬間です。

そこで、今日は、そんな瞬間を感じてもらうために、今からちょっとしたゲームをしたいと思います。「以心伝心ゲーム」です。その場でグループ分けをしてみましょう。Cパターン、つまり前後左右で4人組、あるいは3人組を作ってみてください。体の向きを変えて結構です。

できましたか？ では、これからお題を言いますので、思いついた言葉を、声をそろえて言ってみてください。同じ言葉になった人が多いほどいいです。まずは練習。「長いものと言えバ？」セーの、○○○○○○…… 同じ言葉の人がいたという人は手を挙げてください。やり方はわかりましたか。では、本題にいきます。「丸くて白いものと言えバ？」セーの、○○○○○○○○……「おにぎりの具と言えバ」セーの、○○○○○○○○…… 「3文字の果物と言えバ」セーの、○○○○○○○○……「なかなか全員そろいませんね。では、どうやったらそろうのか、少し話し合ってください。…… では、ラスト1問、「クリスマスに食べるものと言えバ？」セーの、○○○○○○○○……

はい、体をもとに戻してください。

どうでしょう、最後までそろわなかったという人もいるかもしれませんね。最初に、「今日は以心伝心、つまり心を通じた瞬間を感じてもらうためにゲームをしましょう」と言いました。確かに、答えが同じ人がいたら、嬉しいし、仲間の気持ちが強くなったと思います。しかし、どうでしょう、結局ゲームを通じて分かったのは、全員そろうことはないという事実でした。

つまり、一人一人違った思いや考えがあり、完全に一致する人なんて誰もいないということを、皆さんは体験したわけです。私たちは、「人は、自分のことを分かってくれているだろう」と簡単に考えてしまいましたが、そんなことはないということが、これではっきりしたと思います。自分の思いを伝えるには、自分の思いを表す言葉を使わなければならないし、聞く方も、相手の思いを分かろうと努力しないといけません。

そうやって言葉を交わすうちに、完全に一致することはないかもしれないけど、だんだんと互いの気持ちがわかるようになってきます。以心伝心とは、そのようなコミュニケーションの積み重ねがあってようやくできるものだと思います。

来週は合唱祭があります。自分たちの合唱を表現するためにどうしたらいいか、クラスで話し合う時間を大切にして、以心伝心できるような仲間づくりを頑張ってください。